

海星学院高等学校では、数ある国内被災地支援の環境として、毎年7月に東北地方へ生徒数名を派遣し、生徒が傾聴を中心とした活動を行う東北ボランティア生徒派遣事業を実施しています。

震災発生時から、募金活動や生活物資の送付、外国から寄せられた励ましのメッセージの翻訳作業を行ってきたが、2012年より「物よりも人を」という現地の声に応え、本事業を開始しました。

岩手県釜石市の仮設住宅やコミュニティカフェで出会う現地の方、傾聴の場を運営するNPOの方、また釜石ユネスコ協会・釜石市商工会議所の方など様々な立場の方と出会い、その言葉に耳を傾け、生徒は学び、気づきを得ていきます。帰国後、生徒は、それら

東北の方々と談笑する海星学院の生徒たち―岩手県釜石市



室蘭・海星学院高 東北ボランティア

毎年7月に傾聴活動

住 所	室蘭市高砂町3丁目7-7
連絡先	海星学院高等学校 担当 市川教諭
電 話	0143-46-8888

をポスターや報告会で発信します。ポスターは毎年、道南バス株式会社の協力のもと市内のバス70台に掲示いただいています。これまでに作成された約30枚は、3月7日(火)～18日(土)まで、室蘭市市民活動センターにて展示いただきます。

また、これまでに室蘭市立翔陽中学校・室蘭市立室蘭西中学校・登別市立西陵中学校のほか室蘭東ロータリークラブや室蘭市社会福祉協議会などにも招かれ、報告の場をいただいています。生徒の報告を受け、校内では募金活動が行われます。また、毎月

11日の昼休みには生徒会役員が「花は咲く」を放送するほか、毎年12月には有志生徒が調理室に集い、東北の方々にクリスマススクッキーを焼いて送るのが伝統となっています。

なお、一般市民の方々を対象に、6年目を迎える3・11に、室蘭市市民活動センターにて報告会を開催させていただきます。「時が経った今、被災地にメールを送り続ける意義」を訴える生徒の言葉に耳を傾けてもらえたら、幸いです。

■【報告会】室蘭 東北へのメール 高校生が今思うこと(参加無料)
 ▼日時 3月11日(土) 午後2時～同3時
 ▼定員 20名
 ▼会場、申し込み 室蘭市市民活動センター(0143・25局7070番)まで